秋田市 さればおびごより No 51 平成22年8月発行



▲笑うところに「福」きたる!? 平成22年6月17日けやき大学「秋田笑いヨガ」の様子。 笑いとヨガの呼吸法により、免疫力アップ。

- 2 市民の皆様へ
 - ~誰もが安心して暮らせるまちづくりを みんなの手で~
- 3 平成21年度活動の報告と決算
- 4 平成22年度 事業計画、みなさんのご意見をお寄せください! 会員会費のご協力のお願い
- 5 救急医療情報キット事業(安心キット)10月開始予定!
- 6 セーフティネットへの取り組み、9月15日は「老人の日」です! 知っておきたい福祉情報 No2
- 7 地区社協トピックス、地区へのまごころ
- 8 まごころページ、秋田市功労者表彰受賞、今年の秋田市社会福祉大会、 車両助成、市社協クイズ抽選結果、インフォーメーション、編集後記





市民の皆様へ

~誰もが安心して暮らせるまちづくりを みんなの手で~

社会福祉法人 秋田市社会福祉協議会

会 長 鈴 木 彪四郎

日ごろ、本会の事業運営に格別のご支援ご協力をいただき、誠にありがとうございます。 各地域で日々地域福祉活動にご尽力されておられる皆様に、心から感謝申しあげます。

さて、本年度は新たに、一人暮らし高齢者等の救急時や緊急時に、ご本人のかかりつけ医などの情報を事前 に備えておくことで、安全・安心を確保する「救急医療情報キット事業」(詳細はP5)の取り組みや、お互 いのたすけあいの仕組みづくりの再構築にむけて、行政はじめ、地区社協、地区民児協、町内会長、福祉協力 **員など関係機関との連携を強化し、「地域の福祉力」の向上を目指してまいりますので、皆様のご協力をどう** ぞよろしくお願いいたします。

《みんなが大変さを実感している現在》

さて、今まで経験したことのない少子高齢社会の到来、リーマンショック後の経済不況において、 買い物難民を含む諸課題、認知症高齢者の増加による様々な生活課題、幼児や児童への虐待、高齢 者や障がい者への虐待や孤立死、そして企業倒産やリストラ等による失業者の急増など、地域では、 「これまでの生活を維持していくことも大変」という世帯が急増しています。

With the street the

《今、求められているものは?》

このような時代では、行政サービスで全てを解決させることは現実的には困難で、住民だけで助 け合うには限界もあります。

住民と行政が今こそ連携・協働して、実際におきている生活の課題をきちんと把握することが必 要となります。私たちは的確な対応をするために知恵を出し合い、「新たな支え合い」の地域福祉活 動を創り出すことが求められています。

《市社協はどういう立場》

全国の市町村社会福祉協議会は次の二つの役割を兼ね備えた組織です。

「公共性・公益性」 社会福祉法に「地域福祉の推進を図ることを目的」として設置された団体であ るため、国県市等からの公的な福祉事業を行っています。

> (例 生活福祉資金、地域福祉権利擁護事業、地域包括支援センター、ボランティ アセンター、老人福祉センター管理運営等々)

「民間性・自主性」「住民や社会福祉関係機関団体が会員」の社会福祉法人であることから市民の ニーズに基づいて市民目線で、自主的に先駆的な事業を行っています。

> (例、救急医療情報キット事業(安心キット)、介護機器や車いすの無料貸出、 ふれあいさん派遣事業、等々)

《時代に合わせて》

平成 18 年度まで、市役所からの派遣職員である常務理事を中心に社会福祉協議会を運営してきま したが、さらに本会の役職員自身が責任を持って社協活動を推進していくために、本年度からは社 協職員(理事である事務局長)を常務理事に任命し、市民目線の事業を進める体制としました。併 せて3月には副会長の交代で新体制となりました。

会 長 鈴木彪四郎	理 事 加藤 俊悦 佐々木錬治 小野 晋作
副 会 長 高橋 良慥 伊藤憲一(新) 高橋 キン	佐藤 洋一 上村 清一 鈴木 典雄
24 76 70 To 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	渡部 昭一 佐藤 広美 佐藤 保
常務理事 大塚妙子(新)	高橋 知子 豊嶋 司

Me with the set the set

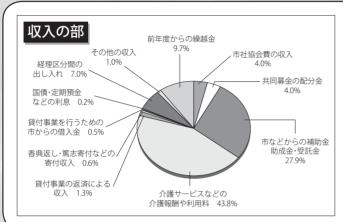
役職員一丸となって、「誰もが安心して暮らせるまちづくりをみんなの手で」を 合い言葉に、秋田市の地域福祉向上のために力を尽くしてまいりますので、皆様 のあたたかいご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

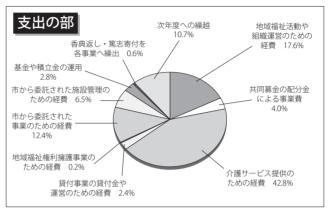


平成21年度 活動の報告と決算

「みんなの福祉をみんなの手で」をスローガンに秋田市の地域福祉の充実に努めました。 その中で、経済状況の悪化や失業により生活が困難になった方や修学費の支払いが滞り 卒業できない方などへの対応として生活福祉資金制度改正により対象範囲の拡大や、手続 きの簡素化などセーフティーネットの充実に取り組みました。

また、秋田県は自殺者率が全国一位となっており、その対策の一環として手持ち現金 の無い方へ食料品を支給する緊急食支援や孤立化予防として地域サロンの拡充に努めま した。





加 入

単位:円

船

単位:円

科目	金 額
市社協会費の収入 (一般会費、特別会費、団体会費)	31,938,800
共同募金の配分金	31,519,854
市などからの補助金・助成金・受託金	222,345,893
介護サービスなどの介護報酬や利用料	348,454,074
貸付事業の返済による収入	10,130,000
香典返し・篤志寄付などの寄付収入	4,404,484
貸付事業を行うための市からの借入金	4,000,000
国債・定期預金などの利息	1,527,499
経理区分間の出し入れ	55,867,606
その他の収入	8,412,734
前年度からの繰越金	77,804,324
合 計	796,405,268

科目	金 額
地域福祉活動や組織運営のための経費	140,324,126
共同募金の配分金による事業費	31,519,854
介護サービス提供のための経費	341,321,203
貸付事業の貸付金や運営のための経費	18,909,045
地域福祉権利擁護事業のための経費	1,336,420
市から委託された事業のための経費	98,781,294
市から委託された施設管理のための経費	51,655,300
基金や積立金の運用	22,766,660
香典返し・篤志寄付を各事業へ繰出	4,404,484
次年度への繰越金	85,386,882
合 計	796,405,268

※なお、事業報告書および決算書については、本会のホームページに掲載しているほか、 本会(秋田市老人福祉センター内)の窓口でも閲覧できます。



平成22年度 事業計画

平成22年度は、一人暮らし高齢者が安心して暮らせるための新たな取り組みや、お互いのたすけあいの仕 組みづくりの再構築、自立した生活への支援、自殺予防対策としての相談体制等の強化など時代に合わせた 事業展開をし、「誰もが安心して暮らせるまちづくりをみんなの手で」の実現に向け、主に次のことを取り組 んでまいります。

地域福祉メニュー選択事業

あらかじめ設定した地域福祉 メニューの中から選択して実施 する地区社会福祉協議会へ助成 します。

- ・給食サービス
- ・地域サロン事業
- ・子育て支援事業

災害時における地域でのたすけ あいの仕組みづくり

地域での役割やたすけあいの 仕組みづくりに取り組み、関係 行政との連携を図ってまいりま す。

生活福祉資金貸付の相談

低所得者世帯・障がい者世帯・ 高齢者世帯などに対して、生活 資金、就学資金等の貸付の相談 に応じます。

本会では秋田市民に対する貸 付相談体制の強化を図ります。

緊急食支援事業

自殺予防対策のため、その日 の食事もままならない方に対し、 食料品の支給と専門相談機関の 紹介をします。

救急医療情報キット事業(安心キット) 子育て支援事業

市内の育児サークルや 子育て支援団体に、子育 てに関する講師を派遣し、講話 や相談、交流を通して、安心し て子育てができるよう支援しま

ふれあいさん派遣事業

急なケガ、病気等の時や産前 産後などの世帯にふれあいさん を派遣し、短期間・単発の生活 支援をします。

みなさんのご意見をお寄せください!

秋田市老人福祉センターの1階ロビーに、みなさまから広くご意見をいただき、健 全な事業運営を行うため「ご意見箱」(右図)を設置しました。

秋田市社会福祉協議会の福祉サービスや苦情、取り組んで欲しいこと等に関してお 気軽にお寄せください。

また、お寄せいただいたご意見等は、直接本会会長が拝見し、副会長を含めて対応 を検討させていただきますのでよろしくお願いいたします。

(ご意見等については、個人情報保護法に基づいて管理いたします。)



会員会費のご協力のお願い

【一般会員会費】

市社協一般会員会費は市民がみんなで支えあうとい う意識のもとに成り立っている制度であり、年会費(1 世帯360円)の納入については、みなさまから趣旨を

平成 21 年度 一般会員会費収入総額 29,782,800 円(360 円× 82,730 世帯)

ご理解いただき、市内の全世帯からご協力いただけるようお願いしているものです。

なお、ご協力いただいた会費は、市内の地域福祉活動や市民のみなさまへの独自サービスの財源としてお ります。

【特別会員、団体会員会費】

本会では「誰もが安心して暮らせるまちづ くりをみんなの手で」を基本方針として、地 域福祉の充実のため活動しております。

つきましては、本会の活動や事業にご賛同 いただける特別会員、団体会員を募集してお ります。今後、職員が伺いました際にはよろ しくご協力をお願いいたします。

会	員の区別	会 費 (年額)
特別会員	個人	一口 1,000円
付 別 云 貝	社会福祉事業施設、団体	一口 2,000円
団体会員	企業·法人	一口 10,000円

※お申し込み・お問い合わせ先

秋田市社会福祉協議会 総務管理課 ☎862-7445 【協力企業・法人の団体会員様】(順不同、敬称略)

(株) かんきょう, (株) 菅生商店, 秋田県石油商業協同組合, 第一石炭(株)、 (株) フロム・エー, 秋田印刷製本(株) (平成 22 年 6 月 30 日現在)

救急医療情報キット事業



(安心キット) 10 月開始予定!



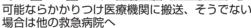
(「キット」とは 「道具一式」と いう意味。)



自宅で具合が悪くなり救急車を呼ぶ「も しも… | のときの安全と安心を守る取り 組みです。かかりつけ医や持病などの医 療情報を入れた容器「安心キット」を自 宅冷蔵庫に保管し、その情報を救急医療 に活かします。









安心キットを備えておくと…

ご本人が伝えることができなくても、救急隊 員が安心キットの情報を確認することで、適切 で迅速な対応ができること、また緊急連絡先の 把握により身内などのいち早い協力が得られま

どんな人が対象?

75 歳以上の一人暮ら しの方、80歳以上の方 だけの世帯、その他設 置が必要と認められる 世帯を対象とします。





安心キットはどこでもらえる?

10月から、お住まいの地区社会福祉協議会を 通じて配布する予定にし ております。

安心キットは無料です。

地域での声かけによる情報更新

安心キットに保管する情報が古いままだと、 適切な対応ができない場合があります。情報の 更新し忘れを防ぐため、年1回程度、お住まい の地域の方(民生委員・町内会長・福祉協力員 など)がお声がけする場合があります。

町内やお隣近所同十の声かけ活動とあわせてすすめていきましょう!



9月下旬

10月~

全市説明会

(参加対象:地区社協、地区民児協、町内会連合会等) 地区社会福祉協議会を通じて配布開始

秋田市社会福祉協議会のセーフティネットへの取り組み

(安全や安心を提供するための仕組み)

昨今の社会情勢は経済状況の低 迷や雇用の悪化、少子高齢社会の 急速な進展などにより生活基盤の 確保、自殺予防への取り組み、権 利擁護の充実などセーフティネッ トの確立が求められております。

Ъ

1 生活福祉資金貸付制度の改正

このような状況において、社会 福祉協議会の事業である生活福祉 資金貸付制度の抜本的な見直しが 行われ、利用者にわかりやすく、 ニーズに対応した貸付資金の統合 がおこなわれました。また保証人 がいない場合でも低金利での貸付 が可能となりました。

2 総合支援資金の創設

生活福祉資金の中に、日常生活 全般に困難を抱えた失業者等の生 活立て直しのため、生活費及び一 時的な資金の貸付をする「総合支 援資金」が新たに創設されました。 (①生活支援費②住宅入居費③一時 生活再建費)

3 臨時特例つなぎ資金の創設

住居のない離職者の自立支援として、公的給付等の支援が受けられるまでの当面の生活費として「臨時特例つなぎ資金」が創設されました。

4 相談体制の強化

また、相談者にきめ細かく応じられるよう貸付窓口の相談員体制の強化を図りました。その結果、貸付相談件数は前年度比で約4倍、貸付件数は約3倍の増となりました。今後ともこの事業を円滑に行うため、相談員等の継続確保について、全国社会福祉協議会を通じて厚生労働大臣へ要望書を提出しているところです。

5 緊急食支援事業

また、秋田市地域自殺対策緊急 強化事業の一環として、貸付相談 をする方の中で、何日も食事をとっ ていない方を対象に緊急食支援事 業を実施し、食料品を支給すると ともに思い立った時に相談できるよう専門相談機関一覧の配布や、 睡眠状況などの健康状態への声が けもしています。 Ъ

6 地域サロン強化事業

併せて、地域の中での孤立化予防を目的とした地域サロンの充実、拡大が自殺予防につながるという観点から、地域サロン強化を図っています。

7 地域福祉権利擁護事業

さらに、判断能力が不十分な高齢者、知的障がい者等の日常の金銭管理などを行う地域福祉権利擁護事業を基幹社協(中央地区を管轄)として実施しております。

このように秋田市社会福祉協議会では、市民のセーフティネットを確立し、安心して暮らせる福祉のまちづくりを行っております。お気軽にご相談ください。

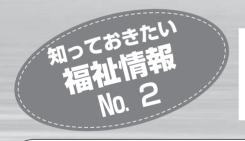
9月 15 日は「老人の日」です!

敬老の日は9月の第3月曜日ですが、老人福祉法で9月15日は老人の日と定められています。 9月は老人月間として、各地区では、長寿を祝う行事や「グラウンドゴルフ大会」や「健康ウォーキング」などの軽スポーツや交流会など高齢者の方が参加できるイベントがたくさん行われます。 各地区で行われるイベント等にぜひ参加していつまでも生きがいをもって元気で長生きし、活力ある長寿社会の実現をめざしましょう。

※地区によって、開催するイベントが異なります。



16



よくご質問のある「施設って、一ヶ月どのくらい費用がかかるの?」について、費用のめやすをご紹介します。

ご本人の心身の状態や介護度、個室か多床室などにより、一人ひとり利用料が変わります。

介護保険施設の場合

《利用者の自己負担金》

+ 居住費

食 費 +

+

できます。

日常生活費 (理美容代等)

※施設サービスは、要介護1以上に認定された方が利用

= 自己負担

の1割 ※次のとおり

施設サービス費

●介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

つねに介護が必要で、自宅では介護ができない方が対象の施設です。

※1ヶ月あたりの施設サービス費(1割)のめやす

要介護度	従来型個室	多床室	ユニット型個室
要介護 1	約 17,670 円 ~	約 19,530 円 {	約 20,070 円 {
要介護5	約26,130円	約 27,990 円	約 28,230 円

●介護老人保健施設

病状が安定し、リハビリに重点をおいた介護が必要な方が対象の施設です。

1ヶ月あたりの施設サービス費(1割)のめやす

要介護度	従来型個室	多 床 室	ユニット型 個室
要介護 1	約 22,020 円 {	約 24,390 円	約 24,480 円
要介護5	約 28,290 円	約 30,660 円	約 30,750 円



むつみ会高齢者 ふれあい交流会

(八橋地区)

6月26日、むつみ会高齢者ふれあい交 流会が開催され、老人クラブ会員26名が 参加しました。

午前は交通安全と認知症についてしっ かりと勉強し、午後はお楽しみ会として、 ミニボウリング、スカットボール、輪投 げの軽スポーツ3種目に挑戦しました。 初めての参加者も多い中、分りやすいルー ルとあってすぐに慣れ、合計点数を競い ながら大いに盛り上がりました。

八橋地区社協では、この行事を地域サ ロン事業の一環と捉え、高齢者の交流の 場として推進しています。



<u>ミニボウリン</u>グに挑戦する参加者 (八橋地区コミセン)

子育て支援「ひよこ広場」

(豊岩地区)

7月9日、子育て支援事業「ひよこ広場」 が開催され、地区町内と近隣地区から8 組の親子が参加しました。

全員輪になり出席を取ってから、アン パンマンなどの歌を振付けて歌い、絵本 の読み聞かせを楽しみ、そのあとはメイ ンの工作活動でした。みんな個性的で素 敵な紙バッグが完成し、大喜びでした。

豊岩地区社協では、地区民児協と一体 となり、なんとか地域に子供を残したい、 地区の学校に入学させたいとの強い思い でこの事業を継続しています。



紙バッグ作りの飾り付けの様子 (豊岩地区コミセン)

っまごころ

皆様から地区社会福祉協議会へお寄せい ただいた善意のご紹介です。

平成22年5月31日まで届出分(敬称略順不同)

【香典返し】

築山地区

中通地区 人見 亮

太田昭夫・伊藤チヨ・黒崎寅雄

川尻地区 佐藤隆吉・赤塚 貢・相場悦子・下田銀一郎

佐藤久雄・松渕美栄子・深谷幸夫・山崎裕子

赤羽静雄 · 遠藤伸悦 · 山本吉雄 · 楢岡茂美

越後屋大輔

茨島地区 加藤昭子・鎌田誠治・加藤

牛島地区

白山初蔵・宮田正一 吉田和美・佐々木和子

土崎地区 寺内地区

土田 正

新屋地区 新屋勝平地区

寺嶋敏一・伊藤 進 高坂昭一

田口秀悦・田口 悟・中村朝夫 農岩地区

伊藤敬介:沖村重広:伊藤正則 下浜地区

原田イサ・保坂 誠 飯島地区

三浦伸一郎・鎌田良子・三浦和子・大門優子 外旭川地区 保坂健治

四ツ小屋・ 御野場地区

伊藤二郎・勝浦 隆・ 榎 清 ・榎 綾子

松渕茂美・佐藤義則・鎌田一美・鎌田一雄 上北手地区

須田 博

上新城地区 篠田鉄男 下新城地区

千蒲春雄·佐藤伊一郎·菅野宗一·中川 努

桜小地区 松本十和子 河辺地区 勇-金

秋元勝男・工藤光子・工藤秀夫・進藤秀麿 雄和地区

藤原一男・佐藤 剛・池田桂樹・石井菊男 渡邉和文・京極匡一・加藤幹雄・佐藤幸樹

鈴木民雄·渡部金-郎·藤原信子·長谷部盛-

佐藤政尺・藤原義雄

【篤志寄付】

山﨑信一・渡邉久美子・御代節子 明徳地区

新屋郷土会 新屋地区

新屋勝平地区 松尾政子

筒井ハツ子・村上清志・松根健老会 飯島地区

上北手地区 鈴木 肇

ステップの会・石塚雷治・田近夕ま 河辺地区

石塚良吉

雄和地区 高野青年会・嘉藤多吉郎

ほごころページ

平成22年6月15日まで届出分(敬称略順不同)

◇香典返し

秋田市社協へ お寄せ

いただいた善意のご紹介です。

◇篤志寄付 ■

【香典返し】

藤田道行・舟木秋雄・保坂 誠

土田 正・伊藤 進・川口 淳・岩谷竜子

【物品寄付】

投資の樹㈱・㈱くまがい印刷・寺内小学区社会福祉協 議会・堀内ミドリ・佐々木豊子・匿名



秋田市功労者表彰受賞



7月12日の市の記念日式典において、本会 鈴木彪四郎会長、本会理事で秋田市身体障害者 協会会長小野晋作氏が秋田市功労者表彰を受賞 されました。



▲鈴木彪四郎会長

献身的な地域福祉活動をとおして、市民全体の民生と福祉の向上に尽力。地域福祉計画の策定にも携わり、秋田市の地域福祉活動に大きく貢献したとして表彰。



▲小野 晋作理事

身体障がい者の自立更生のために尽力し、障がいがあるかたが普通に暮らせる地域づくりに力を注ぎ、秋田市の社会福祉の向上に大きく貢献したとして表彰。

日本財団から4台の車両助成

本会では、日本財団から助成を受け、介護支援 車両3台とデイサービス送迎車両を購入しました。 誠にありがとうございました。

【篤志寄付】

秋田市選抜クラブ・板倉 勗・秋田市 PTA 連合会・ 秋田市佛教青年会・秋田市民市場・協和石油㈱・恵た まえ・秋田駅西口活性化事業協同組合・アキハン会・ あきた共通商品券協同組合・西島凉子・外旭川小中学 校卒業還暦会一同・秋田アトリオンビル㈱・秋田市役 所菊花同好会・菅原初江・新あきた農業協同組合



おしらせ

平成 22 年度 秋田市社会福祉大会

- ■日程/平成22年10月20日(水) 13:30~
- ■会場/秋田市文化会館(大ホール)
- ■内容/講演 秋田市長 穂積 志氏
 - ※一般の方も、当日参加できます。(入場無料)

社協だよりNo.50 市社協クイズ 抽選

応募総数 671 通でした。貴重なご意見ありが とうございました。

本会正副会長により3名抽選し、即日図書

カードを発送させていただきました。

お寄せいただいたご意見を今後の事業へ活かして参ります。



福祉一般、在宅介護、ボランティア活動などのご相談、ご意見を秋田市社会福祉協議会へお気軽にお電話ください。



電話 862-7445 〒010-0976 秋田市八橋南一丁月8-2



電話 881-1205 〒019-2625 秋田市河辺北野田高屋字上前田表66-1



電話 886-5071 〒010-1223 秋田市雄和妙法字上大部77-1

編集後記

私事ながら最近子どもが生まれ、父になったことを、徐々に 実感する毎日です。

先日、子育ての先輩職員と話をしていたところ、「家族を幸せにできないで、地域福祉のため仕事ができるか。」(家族を地域福祉の最小ユニットと考えた場合、秋田市32万人の地域住民のために良い仕事はできない)との話になりました。

この言葉は、私の心に強く残り、家族とそして地域福祉のため、仕事をする私の原動力になっています。(剛)